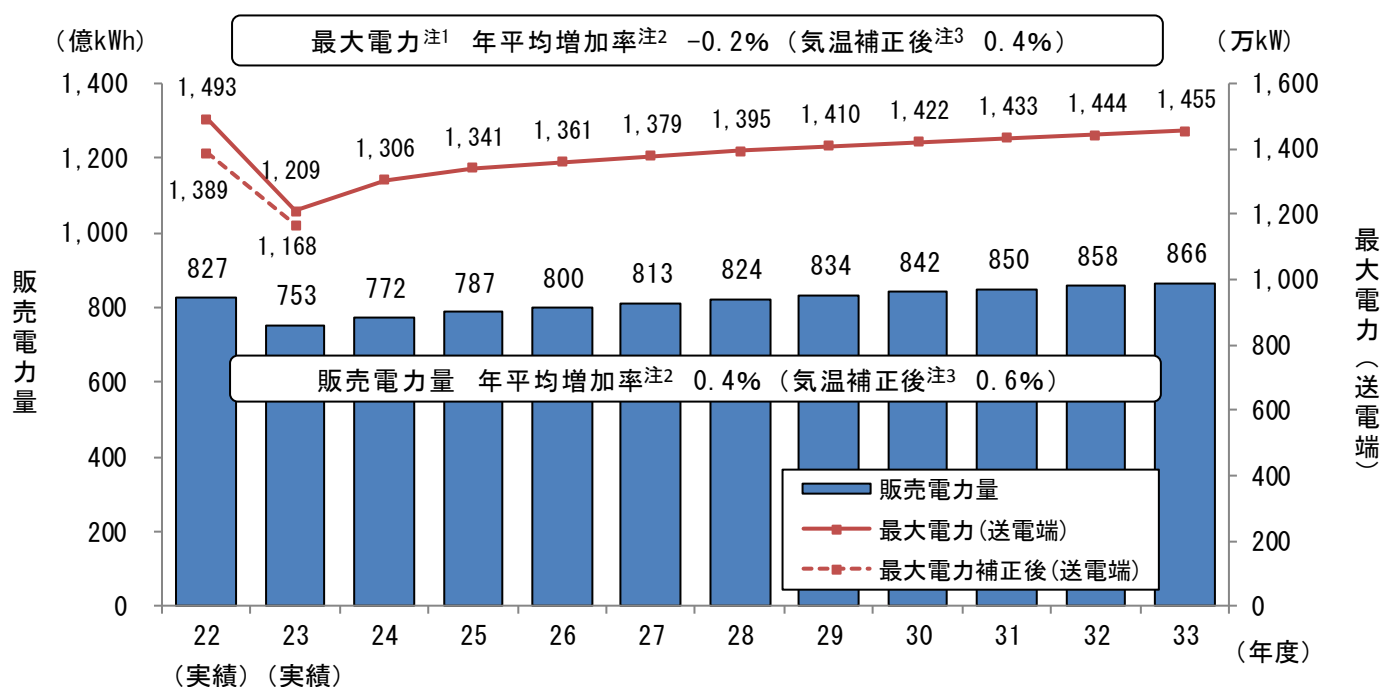


平成24年度供給計画の変更届出の概要

本年3月までの需要動向分析を終え、今後10年間(平成24年度～平成33年度)の需要を見通せる状況となったことから、本年3月末の届出時に「未定」としていた電力需要想定を記載し、供給計画の変更を届け出ました。

<電力需要>

- 電力需要は、人口減少や節電の継続、省エネルギーの進展が予想される一方で、今後本格化する社会インフラ整備などの復興需要やヒートポンプ機器へのニーズの高まりなどから、中長期的に緩やかに成長していくものと見込んでおります。
- 加えて、自動車関連工場の立地・操業開始に伴う産業集積などが需要増加につながっていくものと想定しております。



注1 最大電力：8月最大3日平均電力、送電端の値

※ 本年4月23日の報告徴収では、平成22年並みの猛暑時の想定値として、猛暑時の1日最大電力（発電端、節電あり）を想定し、本年8月の最大電力を1,434万kWと報告

注2 年平均増加率：平成22年度から平成33年度までの平均増加率

注3 気温補正後：実績における異常気温の影響を除いた値

<供給力>

- 供給力は、原子力発電所の運転再開見通しが依然として不透明であることから、今回も見通しを示せる状況にないため、本年3月末の届出時と同様に「未定」としております。

以上